

第16回 全国大会・研究発表大会
学生奨励賞 受賞記

青山学院大学 青柳知紗・木村彩華

この度は学生奨励賞をいただき大変光栄に存じます。これまで研究を支えてくださった諸先生方をはじめ、学会ご関係者および大会参加者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今回発表させていただいた「鳥取県と鹿野町における地域特性を考慮したワーケーション事業の考察」は、鳥取県鳥取市鹿野町をターゲットとし、地域特性を考慮した地方活性化の在り方について述べたものです。

鹿野町のような人口の少ない地域では、人手不足や後継者問題が深刻であり、都心の企業人材を巻き込んでいくことが地域活性化には必要となっています。また、近年では働き方改革や新型コロナウイルス感染症対策の一環としてテレワーク等が普及し始めており、こうした時間と場所に捉われない働き方が今後も普及すると考えられます。

本論文では、特にワーケーションという働き方に焦点を当て、過疎化が進む地方でワーケーション事業を導入することで、地方と都心の企業人材の繋がりを深めていくことを目的としています。地方におけるワーケーションには地域住民の声や通信環境といった点で課題が残っていますが、地方と企業人材がワーケーションを通して共に成長していく社会を目指し、研究を進めていきたいと思っております。

最後に、本研究に取り組むにあたりたくさんの方のアドバイスをくださった青山学院大学宮川研究室の皆様、研究にご協力いただいた鳥取県、鹿野町の職員の皆様に感謝致します。